

北朝鮮水害緊急支援のお願い

日朝の心をつなぐ人道支援！

8月7～14日にかけて、朝鮮民主主義人民共和国（北朝鮮）で降り続いた集中豪雨により、死者・行方不明者600人以上がでるなど深刻な被害が発生しております。首都ピョンヤン市をふくむ、全国各所で、数万所帯の住宅が破壊され、工業、農業、鉄道運輸などいろいろな部門で多くの被害が出ていると報告されています。

KOREA こどもキャンペーンでは、95・96年の大雨洪水被害への緊急支援以来、11年にわたって、北朝鮮のこどもたちへの人道支援を続けながらこの地域の平和と安定を願う活動をおこなってまいりました。当キャンペーンでは、この間の経験や現地の人々と培ってきた信頼関係と、国内外のネットワークをもとに、今回の水害で被災した北朝鮮の人々への緊急支援をおこないます。現在、日朝関係は、拉致問題、核・ミサイル問題など難しい問題が山積し、日本政府は経済制裁を実施するなど「最悪の状態」となっていますが、この地域の平和の基礎となる両国間の関係改善に、市民としての立場から微力ながらも寄与していきたいと思っております。皆さまの、ご理解とご協力を何とぞよろしくお願い申し上げます。

～今回の支援について～

8月18～25日、日本国際ボランティアセンターの代表理事の谷山博史とKOREA こどもキャンペーン事務局長の筒井由紀子が、今年で6年目となるこども交流絵画展「南北 코리아 と日本のともだち展」の訪朝団として朝鮮学校のこどもたちと一緒に北朝鮮を訪れました。直前に大雨洪水のニュースが流れたため、急速にこの被害についても調査することになりました。



平壤市内にて

水害被災からわずか一週間後ということで、平壤市内でも停電が起こったり、電話がかかりにくくなっているところがあり、被災地への訪問は実現しませんでした。現地に駐在する国連世界食糧計画(WFP)や災害への緊急救援を中心におこなっている赤十字(朝鮮赤十字会、国際赤十字連盟平壤代表部)、朝鮮新報平壤支局などを訪問し、実際に被災地を訪問した人たちの話を聞き、情報を収集してきました。また、受入団体と緊急支援について、今後の手

順や具体的な方法など、数度に渡って協議してきました。今回の支援は、この訪朝時の聞き取り調査と現地受入先との協議に基づいて企画、実施いたします。

<支援内容>

支援対象：洪水被災地で被害を受けた医療施設など

支援品目：医療品、医療備品など

支援地域：KOREA こどもキャンペーンがこれまで活動してきた地域（江原道、平安南道、黄海北道など）

支援方法：支援物資は、現地調達および日本から持ち込むなどして、KOREA こどもキャンペーンが直接被災地の医療施設へ届けます。

支援期間：9月～10月中旬までの募金は、緊急支援として、医薬品、医療備品などの支援に充てます。その後は必要に応じて、食糧や復旧に必要な生活物資の支援を検討します。

2007年9月6日

KOREA こどもキャンペーン

共同代表：

茂田真澄（アユス仏教国際協力ネットワーク理事長）

谷山博史（日本国際ボランティアセンター 代表理事）

丸谷士都子（地球の木 理事長）

郵便振替口座

口座番号：00100-0-39835

口座名：「KOREAこどもキャンペーン」

銀行口座

三菱東京UFJ銀行 上野中央支店

口座番号：0666689

口座名：「北朝鮮こども救援キャンペーン」

<連絡先>KOREA こどもキャンペーン

〒110-0015 東京都台東区東上野 1-20-6 丸幸ビル5階
(担当：筒井)

Tel：03-3834-9808 / fax：03-3835-0519

e-mail：tutui@muh.biglobe.ne.jp